

健康づくり推進大会が開催

1月27日、市文化会館で「すてきな笑顔あふれる仲間いっばいのまち」をテーマに第1回志布志市健康づくり推進大会が開催されました。会場の各種コーナーでは、健康相談などが行われ、ステージでは、健康づくり推進員による「フロムしぶし元氣アップ体操」に続き各種表彰式などが行われました。

さらに「乳がんとうつ病を乗り越えて」と題し、女優の音無美紀子さんから、ご自身の乳がん、うつ状態を家族で苦勞し克服された体験を、ご講演いただきました。

会場には多くの参加者が集い、健康づくりの意識を高めることができました。



健康であることは何よりも幸せなことです



高い教科指導力と生徒指導力が評価されました

優秀教職員で表彰されました

1月28日、有明中学校に勤務されている肝付みどり教諭が、平成24年度文部科学大臣優秀教員表彰を受けられました。

肝付教諭は、これまで永きにわたる市内の各中学校において音楽科を指導され、特に合唱指導においては県のコンクールにおいて優秀な成績を何度も収められています。

また、生徒指導の面からも、音楽に関する指導を通じて「歌声が響き、規律ある学校づくり」に大きく貢献されています。

肝付教諭は「この表彰に恥じないような学校づくりに今後も努めていきたい」と話されました。

志布志市女性大会開催

2月3日、志布志市女性大会と介護予防講演会がやっちくふれあいセンターで開催され、各種女性団体会員ら約330人が参加しました。

各種女性団体連絡協議会会員による「フロム志布志元氣アップ体操」で幕を開けた同大会は、講師で声優の、一龍斎春水さんが「介護は想像力」と題して、実母の介護を通して経験されたことや、学んだことを話され、後半は詩人の金子みすゞ氏にまつわる講演をされ、会場は大いに盛り上がりました。

また、同大会では尚志館高校野球部の大隅半島初の甲子園出場を祝し、激励金を集め、後日高校へ寄贈し、甲子園出場を共に喜びました。



講演を行う一龍斎春水さん



ふわふわの雪で雪遊び

山形との相互交流研修

1月25日から28日まで、今年で19回目になる山形県酒田市との相互交流研修が行われ、市内の小・中学生9人が、ホームステイをしながら、雪国の生活を体験しました。

生徒らは山形の家族の温かい気持ちに触れ、自分の家族を見つめなおしたり、雪国の生活の厳しさや生活の知恵を数多く学んだ様子でした。

また「一面の真っ白な雪の世界に感動した」、「7時間かけて作ったかまくらの中に入ろうそくの火を灯したときはとても綺麗だった」、「スキーが滑れるようになったことが嬉しかった」と多くの感動を味わい、たくさんさんの思い出できたようです。



「田の神さあ」との滑稽なやりとりが笑いを誘いました

山宮・安楽神社春の例祭

2月9日と10日、志布志町安楽校区の山宮神社と安楽神社の春祭りが開催されました。この春祭りで行われる芸能は、県の無形民俗文化財に指定されています。

9日には、神事後、お高祖頭巾にも引き姿の正月踊りを奉納。祭りを終えると安楽校区内の自治会を巡る「庭回り」を披露しました。

翌10日には、安楽神社で「打植祭」が行われ、その後、6人の青年がカギのついた木を引きあい、勝敗を競う勇壮な「カギヒキ」等が行われました。

祭りの様々な芸能には笑いや温かい拍手がおこり、春を待つ安楽地区は多くの見物客で賑いました。



今後もきみまろさんのご活躍をお祈りいたします

今年も
ふろさと納税
でさました!!
いつまで
続くこころやう!!
綾小路きみまろ

きみまろさんからのメッセージ!

昨年12月、松山町出身の綾小路きみまろさんから、ふるさと志基金寄附金(ふるさと納税)と温かいメッセージをいただきました。

ふるさと志基金寄附金へは、きみまろさんを始め、全国からたくさん「志」が届けられております。いただいた寄附金は、観光や生活環境、福祉、教育文化に関する事業に使われます。

◆綾小路きみまろ公式ホームページ
www.kimimaro.com/



無病息災を祈願し争奪戦!

田之浦山宮神社ダゴ祭り

2月3日、志布志町の田之浦山宮神社で「ダゴ祭り」が開催され、市内外から多くの人が訪れました。

この祭りは、県の無形民俗文化財に指定されており、県内で一番早い春祭りといわれています。色とりどりの美しいダゴ花が拝殿前に飾られ、その前の広場では「緋舞」や勇壮な「鬼神舞」、ユーモラスな「田の神舞」など、同神社に伝わる神舞が奉納されました。

クライマックスはダゴ花の争奪戦です。このダゴを食べると一年間無病息災で過ごせると言われ、運ばれてきたダゴ花は歓声と同時に、我先にと手をのぼす見物客によってあっという間に無くなりました。



大規模ソーラー発電がスタートしました

志布志太陽光発電所が完成

2月13日、シンコーエネルギー(株)が建設していた志布志太陽光発電所(有明町伊崎田高時地区)が完成し、通電式が行われました。

建設した同社は、平成24年7月に市と立地協定を締結し、本市の再生可能エネルギーへの取り組みに協力をいただいています。同施設は、出力1メガワットの年間発電量113万キロワットを計画、メガソーラー発電施設としては大隅地域で初めて稼働した施設となります。

同社の渡辺代表取締役社長は「この施設の建設により、地域住民の生活と産業振興の一助を担うことができれば」と式典で挨拶されました。